

青春の躍動

「全国総体」
定時制通信制大会
を終えて



新コロナウイルス感染症の影響により中止となったインターハイですが、今夏は感染症対策を万全に期し「走れ北信越の大地」と、北信越の大地へスローガンのもと、福井県、新潟県、富山県、石川県、長野県の北信越五県と和歌山県で開催されました。

競技によっては、大雨による日程変更等がありました。コロナ禍で行われた全国大会が無事終了できたことは、地元の高生や先生方、地域の方々の献身的な協力によるものから感謝申し上げます。

本大会は島根県から二十一競技種目に総勢五十四名の選手と派遣されました。各競技で戦いが繰り広げられ、昨年度の覇権を争ったように、七戦七捷を挙げ、一昨年度の二十を上回る二十八の入賞を果たしました。中でも、ホッケー男子横田高校、カヌー男子ヤックフォア二〇〇mの島根中央高校、藤原小嶋・小嶋・大見・行田選手、カヌー女子ヤックペアの出雲農林高校（三島・橋本選手）は優勝という輝かしい成績を残してくれました。入賞の内訳は、十六が男子、二が女子、八が通信制、十六が男子、二が女子、八が通信制に別れました。また、全国定時制通信制大会は東京都・静岡県・奈良県等で開催され、各競技にエントリーしていましたが、柔道競技が中止。その他の競技は実施されたものの、開催地の感染状況等を踏まえ、多数の選手が出場を辞退することとなり、奈良県で開催された卓球競技に選手・監督が一名ずつ参加するにとどまりました。



「全国制覇を達成して」
横田高校 男子ホッケー部
主将 渡部 純

昨年のインターハイは新型コロナウイルスの影響により中止となり、今年のインターハイは卒業していった先輩方の思いも乗せて臨んだ特別な大会でした。

今年一月に新チームになったから、得た力向上を課題とし、日々の部活動に励んでいました。対人練習では、選手同士でコミュニケーションをとりながらプレーをし、プレレイルにはお互いアドバイスを出し合うなど、高い高い練習が出来たと感じました。その成果もあり、インターハイでは全試合で先制点をとり、試合を優位に進めることができています。

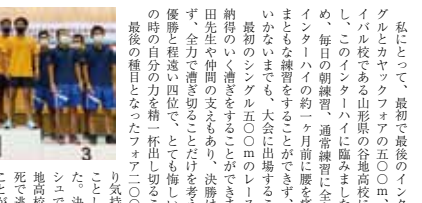
今大会は準々決勝の戦い、苦しい試合展開になってしまいました。しかし、そうした状況でも、チーム全員で声を掛け合い、集団力を切らなかつたことが勝利につながりました。

今大会では十一年ぶりの優勝ができて、とてもうれしく思っています。これまで支えてくれた多くの方々、ご声援をいただき、今後とも思返しが出来るように努力を続けていきたいと思います。

国体はまだまだありますが、まだ高校最後の全国大会でもある全国選抜があります。今大会を通して自分たちはまだまだ伸びがあると感じています。得点後の失点や基礎練習を課題に次の目標に向けて練習に励み、全国選抜でも、より強い横田高校を全国の舞台で披露し、二冠達成したいと思っています。ありがとうございます。

「インターハイを終えて」

島根中央高校 カヌー部
行田 朋晃



私にとって、最初で最後のインターハイ。私は、カヤックシングルとカヤックフォアの五〇〇m、二〇〇mに出場しました。ラバル校である山形県の谷地高校に勝つことを目標とし、このインターハイに臨みました。私はこの目標を達成するため、毎日の朝練習、通常練習に全力で取り組みました。しかし、インターハイの約一ヶ月前に腰を痛めました。それから数日は、まともな練習をすることができず、焦りました。調子が悪くはないうちから、大会に出場することができず、最初のシングル五〇〇mレースでは、予選、準決勝とあまり納得のいく滑走をすることができませんでした。しかし顧問の堀田先生や仲間のお支えもあり、決勝はもろが最後まですべて全力で滑走しただけを考えました。結果は、優勝と健闘の四位で、とても悔しい思いでしたが、その時の自分の力を精一杯出して滑ることができました。

最後の種目となったフォア二〇〇mでは、シングルから少しかきり気持ちを切り替えて、一位を取ることにできました。レースに臨み、スタートでトップに立ち、後半に隣の谷地高校に追い上げられましたが、必死で逃げ切り悲願の優勝を勝ち取ることができました。優勝の瞬間は、みんなで声上げて喜び、水の上から上がって互いに抱き合いました。島根中央高校で初の優勝を成し遂げることができ、とてもうれしかったです。

この優勝は自分たちだけで勝ち取ることができたのではなく、顧問の堀田先生のご指導、家族、先生方、地域の方々のご支援があったからこそと思っています。本当にありがとうございます。

「インターハイを終えて」

安来高校 フェンシング部
主将 川井 誠司

私たちフェンシング部は八月十一日から十四日にかけて福井で行われたインターハイに出場し、男子は十一年ぶり、女子は十二年ぶりにベスト8に入ることが出来ました。

また、新型コロナウイルスの影響で昨年は全国選抜やインターハイなどの全国的な大会はほとんど開催されなかった状況でしたが、今年も、感染症対策としてさまざまな規制はありましたが、無事インターハイが開催されたことにも感謝しています。

男女ともに試合前は緊張感があり、自分の力を発揮しきれなかった不安でしたが、男子は全員が声を掛け合い、流れを上手中に押さえてきたことに感じています。試合の運びも「緊張」よりも「楽しむ」思いでプレーをしている印象を強く受けました。

と試合でも、自分達の力を最大限に発揮できたと思います。女子の試合は男子の試合と並行して行われていたため、全てを集中してはできませんでした。しかし、近くで試合をしている女子の応援が勝利した時の声や、自分達も勇気を奮って試合をする姿が印象に残っています。

安来高校は、強い団結力を持って、学年、部族を超えて声援をあげ、話し合えることを積極的に行ってきた。その中で生まれた強い団結力が今回のような結果に繋がったと思います。

これから後進には、その強い絆を活かしつつ自分達ならではの特色を出して、どの高校にも負けない強い安来高校フェンシング部を創り上げてほしいです。

令和3年度 全国高等学校総合体育大会
輝け君の汗と涙 北信越総体 2021
競技開催期間 2021年7/24日・8/24日 総合開会式 2021年8/13日 サンドーム福井

走れ北信越の大地と
とべ北信越の大会

どんな競技？



輝け君の汗と涙 北信越総体 2021 入賞一覧

No	成績	競技	種目	氏名	学校	No	成績	競技	種目	氏名	学校
1	1位	ホッケー	男子	横田高校		15	5位	柔道	男子60kg級	田窪 剛共	開星高校
2	1位	カヌー	男子カヤックフォア 200m	島根中央高校 (藤原・小嶋・大見・行田)		16	5位	柔道	女子57kg級	小輪 心里	出雲西高校
3	1位	カヌー	女子カヤックペア 500m	三島 まりあ、橋本 孝	出雲農林高校	17	5位	卓球	男子ダブルス	原杉 智夫、田浦 多和	出雲北陵高校
4	2位	柔道	男子66kg級	福田 大和	平田高校	18	5位	卓球	女子団体	明誠高校 (山崎・竹村・直江)	
5	2位	カヌー	男子カヤックフォア 500m	島根中央高校 (藤原・小嶋・大見・行田)		19	5位	フェンシング	男子団体	安来高校 (川井・遠藤・坂垣・平塚)	
6	2位	カヌー	男子カヤックペア 500m	藤原 哲亮、一太	島根中央高校	20	5位	フェンシング	女子団体	安来高校 (伊藤・橋・藤原・坂垣)	
7	2位	カヌー	男子カヤックペア 200m	藤原 哲亮、一太	島根中央高校	21	5位	カヌー	男子カヤックシングル 200m	行田 朋晃	島根中央高校
8	2位	カヌー	女子カヤックフォア 500m	島根中央高校 (橋本・松岡・山根・和泉)		22	5位	カヌー	男子カナディアソフア 500m	出雲農林高校 (土井・原・片伊勢・漆谷)	
9	2位	カヌー	女子カヤックペア 200m	三島 まりあ、橋本 孝	出雲農林高校	23	5位	カヌー	女子学校対抗戦	出雲農林高校	
10	3位	カヌー	男子学校対抗戦	島根中央高校		24	5位	なぎなた	女子個人	高野 杏夏	出雲北陵高校
11	3位	卓球	女子ダブルス	山崎 唯香、直江 愛香	明誠高校	25	7位	カヌー	女子カヤックシングル 500m	三島 まりあ	出雲農林高校
12	3位	カヌー	女子カヤックフォア 200m	島根中央高校 (橋本・松岡・山根・和泉)		26	8位	陸上競技	男子棒高跳	土江 真翔	大社高校
13	4位	カヌー	男子カヤックシングル 500m	行田 朋晃	島根中央高校	27	8位	カヌー	男子カナディアシングル 500m	土井 翔希	出雲農林高校
14	5位	陸上競技	男子三段跳	永岡 勇次郎	大社高校	28	8位	カヌー	男子カナディアダブルス 200m	土井 翔希	出雲農林高校

*各競技実施要項の入賞にかかわらず8位以内を記載しています。

●高円宮杯JFAU-18サッカーリーグ
高校サッカーにおいては、最もシヤリな大会といえ、年末年始に行われる。全国高校サッカー選手権大会と並び、テレビ中継も大々的にされ、多くの注目を集める大会です。夏の「全国高校総体」も全国を舞台に開催される大きな大会です。

●高円宮杯JFAU-18サッカーリーグ
日本にはプロリーグであるJリーグがありますが、高校生も年間を通してリーグ戦を戦っています。高校のサッカーチームのみならず、Jリーグクラブの下部組織や、地域クラブなども参加している非常に規模に大きな大会です。上記のような形で地域ごとに区分けされ、リーグ戦を戦います。一年間の結果で、昇降格があり、最も高いレベルでは、西日本・東日本という大きな規模で実施されています。このようなことから、高校サッカー選手権は、厳しい戦いを、日々行っています。

その他 全国大会

- 全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会【BP60WJ】 (優勝) 羽田 日向 立正大高南 (第3位) 廣瀬 天 立正大高南
- 全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会 学校対抗戦【BR男子】 (第5位) 立正大高南
- 全国高等学校軟式野球大会 (第3位) 浜田高校

●参加チーム (2021年度現在)

- 《プレミアリーグWEST》
サンフレッチェ広島ユース、東福岡高校、ガンバ大阪ユース、大津高校 など10チーム
- 《プレミアリーグEAST》
青森山田高校、FC東京ユース、流通経済大学付属柏高校、浦和レッズユース など10チーム
- 《プリンスリーグ中国》
立正大瀬南高校、米子北高校、瀬戸内高校、ガイナレ鳥取ユース など10チーム
- 《島根県リーグ1部》
立正大瀬南高校B、大社高校、開星高校、明誠高校、松江商業高校、出雲工業高校、松江農林高校、松江南高校
- 《島根県リーグ2部》
立正大瀬南高校C、石見聖学院高校、出雲高校、松江北高校、松江工業高校、平田高校、大社高校B、出雲工業高校B
- 《島根県リーグ3部(東部A地区)》
松江東高校、松江商業高校B、松江南高校B、松江西高校、情報科学高校、三刀屋高校
- 《島根県リーグ3部(東部B地区)》
出雲西高校、出雲北陵高校、出雲農林高校、出雲高校B、大社高校C、出雲商業・大田合同チーム
- 《島根県リーグ3部(西部地区)》
益田高校、益田聖学院高校、益田東高校、津田高校、明誠高校B、松江工業高校、石見聖学院高校B、吉賀高校、津田商業・津田合同チーム